

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業			担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	歯科保健課		課長：田口 円裕		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	免許取得直後の新人歯科衛生士や、介護等によって離職していた歯科衛生士に対して、研修及び復職支援等に対する制度や歯科衛生士に対する復職支援対策等を実施することで、離職防止や復職支援を推進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	歯科衛生士の離職防止及び復職支援のため、以下の事業を行う。 (1) 歯科衛生士復職支援共通ガイドラインの策定 (2) 研修指導者、臨床実地指導者養成のための中央研修等を実施 (3) 技術修練部門の整備と運営 (4) 復職支援中央相談センターの設置 (5) 求人及び求職情報等システム構築に向けた調査検証等								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	205		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		0	0	0	0	205		
	執行額		-	-	-	-			
執行率 (%)		-	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度
	前年同程度の受講者を受け入れる。	研修指導者等養成中央研修の受講生	成果実績	人	-	-	-	-	-
			目標値	人	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度
	前年同程度の受講者を受け入れる。	技術修練部門の年間利用者数	成果実績	人	-	-	-	-	-
			目標値	人	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	研修指導者等養成中央研修の開催回数	活動実績	箇所	-	-	-	-		
		当初見込み	箇所	-	-	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	単位当たりコスト = X / Y X:「研修指導者等養成中央研修に係る執行額」 Y:「研修受講者数」		単位当たりコスト	千円	-	-	-	-	
			計算式	X/Y	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	単位当たりコスト = X / Y X:「技術修練部門に係る執行額」 Y:「技術修練部門の年間利用者数」		単位当たりコスト	千円	-	-	-	-	
			計算式	X/Y	-	-	-	-	
内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	衛生関係指導者等養成委託費	0	205	「新しい日本のための優先課題推進枠」205					
	計	0	205						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標2 必要な医療従事者を確保するとともに、資質の向上を図ること									
	施策	医療従事者の資質の向上を図ること(施策目標I-2-2)									
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 年度		
			実績値	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	歯科衛生士に対して、復職支援等のために最新の知識や技術の講習を行うことで、質の高い安全な歯科保健医療の提供につながることから、医療従事者の資質向上という目的に合致している。										
	改革項目	分野:	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度			
		成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明						
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	歯科衛生士不足を改善するために復職支援等に取り組むことを目的としており、社会のニーズを反映している。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	歯科衛生士の復職支援施策等に地域間で格差等が生じないように、国費を投入して取り組む必要がある。						
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	歯科衛生士不足改善のため行うものであり、優先度の高い事業である。						
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-							
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-							
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-							
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-							
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-							
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			-							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-							
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-							
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-							
点検結果・改善	所管府省・部局名	事業番号	事業名								
	-	-	-								
点検結果	点検結果	-									
	改善の方向性	-									

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
205百万円

歯科衛生士の復職支援・離職防止等に対する
支援

委託【公募】

A. 公募により決定した事業者
〇百万円

以下の事業を実施

- (1) 歯科衛生士復職支援共通ガイドラインの策定
- (2) 研修指導者、臨床実地指導者養成のための中央研修等を実施
- (3) 技術修練部門の整備と運営
- (4) 復職支援中央相談センターの設置

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

